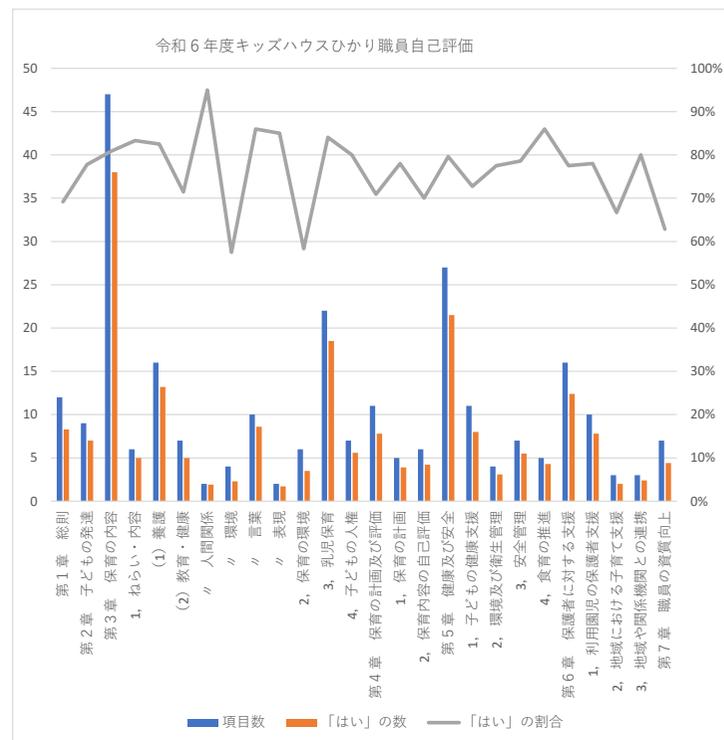


キッズハウスひかり 自己評価結果集計票

自己評価対象	通し番号	項目数	「はい」の数	「はい」の割合
第1章 総則	1～12	12	8.3	69%
第2章 子どもの発達	13～21	9	7	78%
第3章 保育の内容	22～68	47	38	81%
1, ねらい・内容	22～27	6	5	83%
(1) 養護	28～43	16	13.2	83%
(2) 教育・健康	44～50	7	5	71%
〃 人間関係	51～52	2	1.9	95%
〃 環境	53～56	4	2.3	58%
〃 言葉	57～66	10	8.6	86%
〃 表現	67～68	2	1.7	85%
2, 保育の環境	69～74	6	3.5	58%
3, 乳児保育	75～96	22	18.5	84%
4, 子どもの人権	97～103	7	5.6	80%
第4章 保育の計画及び評価	104～114	11	7.8	71%
1, 保育の計画	104～108	5	3.9	78%
2, 保育内容の自己評価	109～114	6	4.2	70%
第5章 健康及び安全	115～141	27	21.5	80%
1, 子どもの健康支援	115～125	11	8	73%
2, 環境及び衛生管理	126～129	4	3.1	78%
3, 安全管理	130～136	7	5.5	79%
4, 食育の推進	137～141	5	4.3	86%
第6章 保護者に対する支援	142～157	16	12.4	78%
1, 利用園児の保護者支援	142～151	10	7.8	78%
2, 地域における子育て支援	152～154	3	2	67%
3, 地域や関係機関との連携	155～157	3	2.4	80%
第7章 職員の資質向上	158～163	7	4.4	63%



【考察】

・第4章 保育の計画及び評価の項目の個々の集計を分析すると、パート職員の数値が低かった。その日の保育内容が、共通理解できるように計画案を見える場所に掲示していきたい。又、保育園の園目標についても皆で読み合い、具体的な例を出し合うなどして全職員が説明できるようにしていきたい。

【職員からの気づきから園内研修でとりあげたいこと】

- ・「総則」の学びが足りないと言う意見が多かったので園内研修で取りあげ、保育の質の向上に努めたい
- ・「環境」の項目について、自然と触れ合う機会が少ないことや室内構成（四季を感じる・休息コーナーの設置・子ども目線の動線など）についての意見がでていたので季節の変わり度に話し合いをもつようにしたい。